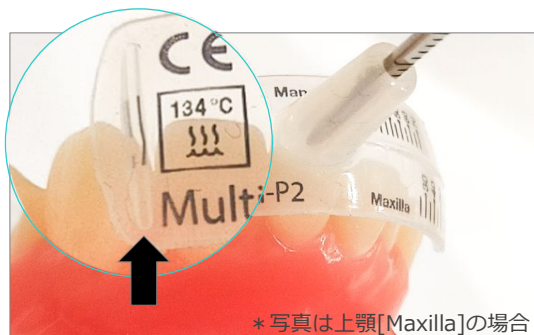


Multi-P2[®]メジャリングデバイス 使用方法

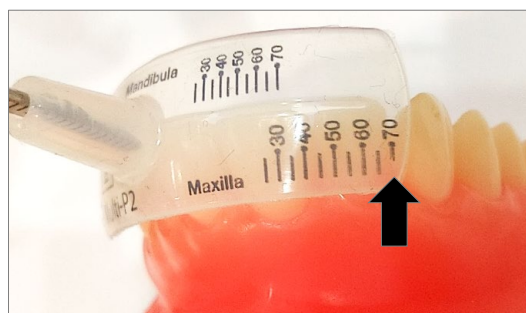
使用方法



- ① 上顎または下顎の側切歯遠心にメジャリングデバイスの突起を合わせます。
- ② 反対側の側切歯遠心までの距離を目安にサイズを選択します。
(上顎アーチはデバイスのMaxilla側、下顎アーチにはMandibula側を使用)



*写真は上顎[Maxilla]の場合



- ・ 叢生がある症例では1～2サイズ大きめのものを選択します。
 - ・ 正中離開や空隙のある場合、および唇側傾斜を改善したい場合には1サイズ小さいものを選択します。
 - ・ 混合歯列期には、成長後の歯列弓の成長を考慮に入れてください。
 - ・ 上顎、下顎のどちらの計測値からもサイズの選定が可能です。より叢生や空隙の少ない方を基準として下さい。
- ③ 選択したMulti-P2アプライアンスを試適（模型上もしくは口腔内）し、それぞれの歯の位置が各萌出ガイダンスに 収まる位置、または延長上にあるかどうかを確認します。

もし歯の位置が萌出ガイダンスの近遠心の縁に当たっているようであれば、治療効果が期待できません。サイズの選定を再度行ってください。



叢生が少ない場合や、犬歯の遠心誘導が必要無い場合の適切な状態
(犬歯が萌出ガイダンス中央に収まっている)



叢生がある、または叢生が予想され、歯列拡大のために犬歯の遠心誘導を期待する場合



アプライアンスが大きすぎて犬歯がガイダンス間の縁に当たっている場合は、適切な萌出誘導が期待できない

お手入れ方法

メジャリングデバイスはハンドルも含め、全てオートクレーブが可能です。